

わがまちの

消防団

大切なひと、大切なまちを、守りたい…



消防団とは…

消防団は、自治体消防機関として、市町村に設置され（消防組織法第9条）、消防団員は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき、地域の安心・安全のために活動しています。

消防・防災に関する知識や技術を習得し、消火活動をはじめ、地震や風水害といった大規模災害時の救助・救出、警戒巡視、避難誘導活動などに従事して、地域住民の生命や財産を守るために活躍しています。また、平常時は防火指導、特別警戒なども行い、地域防災力の向上のため重要な役割を担っています。



台風23号で氾濫する由良川下流（平成16年）

平成7年「阪神・淡路大震災」でも、消防団は消火、要救助者の捜索、救助、給水、危険箇所の警戒など、大活躍しました。特に、日頃の地域に密着した活動の経験が活かされ、倒壊家屋から数多くの人々を救出した実績は、目を見張るものがありました。



阪神・淡路大震災で倒壊した西宮市のマンション（平成7年）人と防災未来センター（神戸市）提供



女性消防団員による訓練風景

また、近年は、女性の積極的な参加が見られます。高齢者宅への防火訪問、応急手当の普及指導、消防団活動のPR事業など、活動の機会が増加しています。

このように、消防団は地域の安心・安全を守る中核として、大きな役割を果たす存在です。多くの方に、是非消防団に入団いただき、特に若い皆さんの加入をお願いします。

● 京都府の特徴的な消防団活動 ●

綾部市 ハイパー消防団
より幅広い「救助」のために訓練を続けています。



「ハイパー消防団」とは災害発生時に分団の枠を越えて招集し、被災現場でそれぞれの技能を生かした救援・支援活動などをとする新たな組織として平成19年9月1日に発足。大型特殊、電気工事士、フォークリフト、アマチュア無線や応急手当普及員といった様々な資格を持つ消防団員を登録し、有事に備えています。

伊根町 消防艇あおしま
海の上から、人を、暮らしを、守ります。



伊根町は古くから漁業が盛んで漁船が多く、また波穏やかな湾沿いには舟屋等家屋が建ち並ぶ独特の地形であるため、昭和26年から消防艇を配置しています。現在の消防艇「あおしま」は3代目となり、船舶火災はもとより、海という無限水利を生かした陸地火災への送水や海難者の捜索救助といった活動も行える伊根町消防団を特色付ける機材となっています。

福知山市 ふくちやまファイヤーエンジェルス
消防団活動をもっとPRしたいから……!



「ふくちやまファイヤーエンジェルス」は火災予防や消防のPRを通じて、みなさんと共に安心で安全に暮らせるまちづくりをめざしてファイヤーガード隊13人、カラーガード隊17人の構成で平成13年10月1日発足。カラーガード隊はフラッグ（旗）の的確な操作により、消防の規律性を表現します。ファイヤーガード隊は、防火防災情報をお知らせし、災害に強いまちづくりをめざしています。

消防団トリビア①

江戸時代に八代将軍・吉宗が、江戸南町奉行の大岡越前守に命じて、町火消「いろは四八組」を設置させたことが、今日の消防団のルーツといわれています。

消防団トリビア②

消防団員数は、常備消防職員の約6倍の人員（要員動員力）を誇り、全国で約90万人の団員が活躍しています。崇高なマンパワーが地域の消防を支えているといえます。

消防団トリビア③

消防団員は様々な職業をもち、多世代で構成されています。このチームワークが地域力の一翼となっています。

消防団に入団し、わがまちを守ろう!

消防団に入団したい!

- 消防団 TEL.000-000-0000
- 消防団 TEL.000-000-0000

京都府内の消防団について、もっと知りたい!

京都府 消防安全課 TEL.075-414-4478

お問い合わせ窓口

発行元 京都府府民生活部